

## 喜寿記念同期会に出席して

中澤忠繁（5組）

先ごろ開催された喜寿記念同期会の感想を5組代表して書いて欲しいと幹事団から依頼がありましたので、纏めてみました。私は現在、旧丸子町に住んでいます。

昭和24年3月31日生まれなので、65期では一番若いと思います。

高校時代は体操班でしたが、途中で退班しました。

今回の同期会は喜寿記念と銘打っており、全体では最後かもしれないということもあったためか、私が予想していたより参加者が多く、約100名という数字には驚かされました。

卒業生472名、生存者約400名として、4分の1ですから凄い割合です。

これもひとえに幹事団のご尽力とご労苦の賜物と感謝申し上げます。

わが5組の参加者は、前回の卒後50年同期会には10数名いたのに、今回は6名しかおらず寂しい思いでした。幹事役だった手塚正君と本田光芳君を失ったのが響いたようです。

参加者は地元から私と青木村在住の宮下勇一君、県外から折井正博君（吹奏楽班）、戸叶秀晴君（陸上班）、内山英樹君（排球班）、インドから田中裕子さんでした。久しぶりの再会なので話が弾んで、二次会でもまた、大いに盛り上がったのはいうまでもありません。

ここで5組の同級会の活動を簡単に紹介します。卒業した翌年の昭和43年に上田の「ささや」にて参加者20名ほどで第1回目を開催しました。それから平成24年に、18名が参加し40数年ぶりに旧交を温めることができました。その後は地元有志で飲み会とゴルフ会を行ってきました。しかし、令和2年からのコロナ禍により飲み会は中止しています。



5組の皆さん、左から田中、宮下、中澤（筆者）、内山、折井、戸叶

さて、今後の同期会の在り方ですが、全体で行うのは今回が最後と案内のとおりで良いと思います。これからはクラスごと、あるいは地域ごとに行うのがよろしいかと考えます。最後に、同期の皆さまのご健勝とご長寿を祈念申し上げます。筆をおきます。

(2025年7月22日記)

以上